豊かな読書体験で本好きな子どもに

～組合立養基小学校～

本校では、3年間にわたった耐震・改修工事が8月に終わり、耐震強度の向上とともに教室や玄関、廊下も木材をふんだんに使った落ち着きのある美しい環境になりました。2学期の始業式から、リニューアルされた校舎で授業が始まりました。どの子もすばらしい環境の中で、一層明るく元気に授業に臨んでいます。10月初旬には、「感謝の会」を行い、保護者、地域や工事関係者の方々に、子どもたちの学習の様子や校舎の様子を見ていただきました。

明るく、温かい雰囲気の図書館

工事で、図書館も広くて明るい環境に変わりました。10月から本格的に貸し出しが始まり、多くの子が図書館に足を運んでいます。図書館の充実をめざして、学校司書による本の読み聞かせをしたり、季節のお薦めの本を展示したりして、子どもたちが本の世界に浸れるような環境作りに努めています。

特別教室と普通教室、さらに廊下分を合わせた広さになった図書室です。明るくきれいな調べ教室と閲覧室になりました。

豊かな優しい心を育てる読み聞かせ

11月は読書週間を実施しました。期間中は「親子読書」を行い、保護者の方々にご協力をいただきました。普段はなかなか本を読む時間も取りにくいですが、「家でおやすみ前に読んであげると、親子でとてもあったかい気持ちになれます。（2年男子　母）」という感想もいただきました。また、学校司書だけでなく、PTA読書サークルの「レインボーサークル」、教師や保護者の方など、読み聞かせの場を数多くもちました。じっと、話に聞き入る子どもたちを見ると、子どもは本が好きなんだと思うと同時に、こうした温かいふれあいの体験が豊かな優しい心を育てるのだと強く感じました。

月2回、学校司書による読み聞かせがあります。子どもたちが楽しみにしています。

読書の習慣を身につけさせる「朝の読書タイム」

毎週金曜日の朝に「読書タイム」があります。15分間全校が静まり返って本を読んでいます。また、11・12月の学習目標は「すいせん図書やいろいろな分類の本を読みます」なので、本を読む取り組みに力を入れました。読書によって培われた「豊かな語彙力」と「想像力」は、あらゆる教科の基礎になります。「習い事で忙しい、時間がない」という子どもたちにも、テレビやゲームの時間の中のたった「15分間」を、読書の時間として習慣化させたいものです。読書習慣づくりは、学習の基礎づくりにつながると確信します。

「いびがち」の「い」

～揖斐川中学校～

いびがち

揖斐川中学校では、学校名にちなんで四つのこと、「い…命」「び…美しい心と環境」「が…学習や合唱」「ち…秩序とリズム、真剣さと緊張感」を大切にして日々活動に取り組んでいます。

「揖斐川中」の「い」…「命」を大切に

特に何よりも大切にしていることの一つは**「命を大切にする」**ことです。このことは生徒だけではなく、保護者の方や地域の方にもご理解いただき、あらゆる場でご協力いただいております。また、揖斐川中学校PTAでも、活動の中心テーマを「命」として、様々な取組みを行っています。10月17日には、多くの保護者の方や来賓の方の参加を得て「与えられた命精一杯生きよう！」をテーマに、「オープンスクールいびがわ（OSI）」を開催しました。骨髄バンク推進協議会副会長の**田中重勝**（たなかしげかつ）**さん**をお招きし、**「プロジェクトX　決断　命の一滴」**と題してご講演いただき、親子で「命」について考えることができました。

命の尊さを語る田中さん

お腹の底から笑って、生きている喜びを実感

また、ぷちたま劇団の皆さんによる演劇「オオカミと三匹のブタ」では、お腹の底から笑って、生きている喜びを実感できました。

三匹のブタの熱演

心に響く親から子どもへのメッセージ

続いて照明を落とした会場で、しみじみと語られた「親からの手紙」からは、会場の皆さんの心の奥深くに多くのメッセージが届けられました。参加者の感想からは「手紙の朗読は、私たちの気持ちの代弁のようでとても感動しました。」「手紙には驚き、感動し、涙がとめどもなく流れてしまいました。」また、会に参加した親さんから、当日の夕食後にお子さんから**「ありがとう」**と言われてとても嬉しかったという報告もいただきました。

揖斐川の命を歌う全校合唱

会の締めくくりは揖斐川中の伝統歌である「走る川」の全校合唱でした。揖斐の地に豊かな恵みをもたらす揖斐川の命を歌い上げました。

このように、「命に感謝し、精一杯生きる」ことの大切さをみんなで実感しながら、共に生きています。

全校合唱　「走る川」